

地域別計画

- 1 北地域
- 2 東地域
- 3 南地域
- 4 西地域
- 5 流域（河川流域・集水域）に基づく区分

■ 地域区分について

本計画では、市域を4地域に分け、地域別のみどりの保全及び創出のための課題と施策の方針を示します。

この4地域は都市計画マスタープランの地域別のまちづくりの方針（地域別構想）と同じもので、行政センター管内のまとまりによる区分けです。

なお、各地域別のみどりの量については、今後実施していく「緑被率調査」に基づき把握し、地域毎の施策展開に役立てていきます。



4 地域のエリア図

第Ⅴ章 1 北地域

(1) 地域の概況

① 面積

1,363ha ※平成20年度末時点

② 人口・世帯数

49,013人、20,883世帯 ※平成21年4月1日時点

③ 都市公園 954,959m² ※平成20年度末時点

④ 地域の概要・特徴

- ・近年、人口減少が顕著で、少子高齢化が最も進行している
- ・複雑に入り組んだ谷戸が多く存在し防災面や生活利便性の面で課題を有する
- ・横須賀市特有の景観をつくり出している斜面緑地が多く存在している

⑤ みどりの特徴

- ・骨格となるみどりとして、田浦梅の里から塚山公園にかけての丘陵部がある
- ・拠点となるみどりには、鷹取山公園、追浜公園、貝山公園、田浦梅の里、塚山公園がある
- ・歴史的資産と一体となったみどりには、夏島周辺、塚山公園がある



田浦梅の里



鷹取山



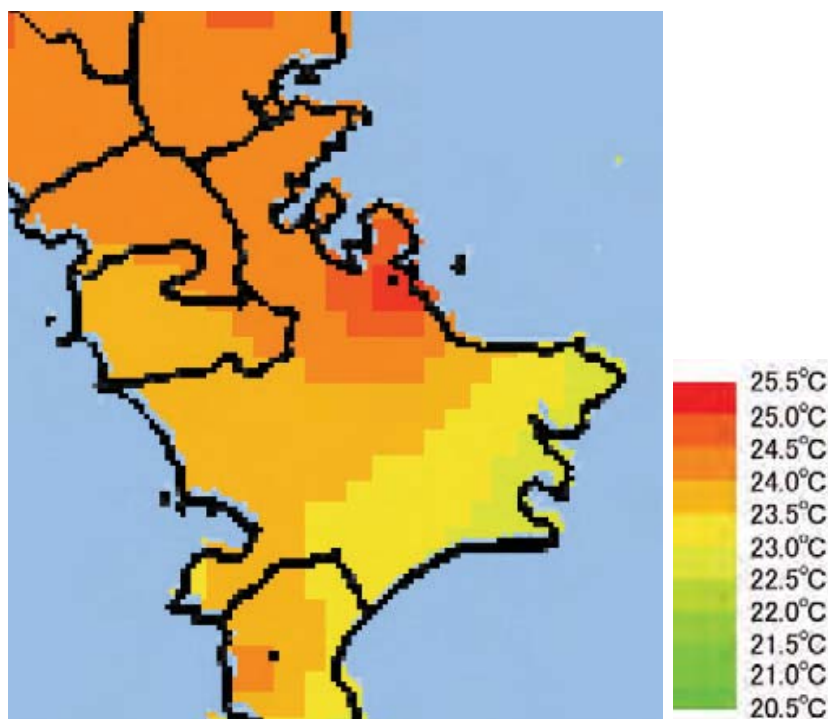
塚山公園からの遠望



追浜公園

(2) みどりの課題（取組みの必要性）

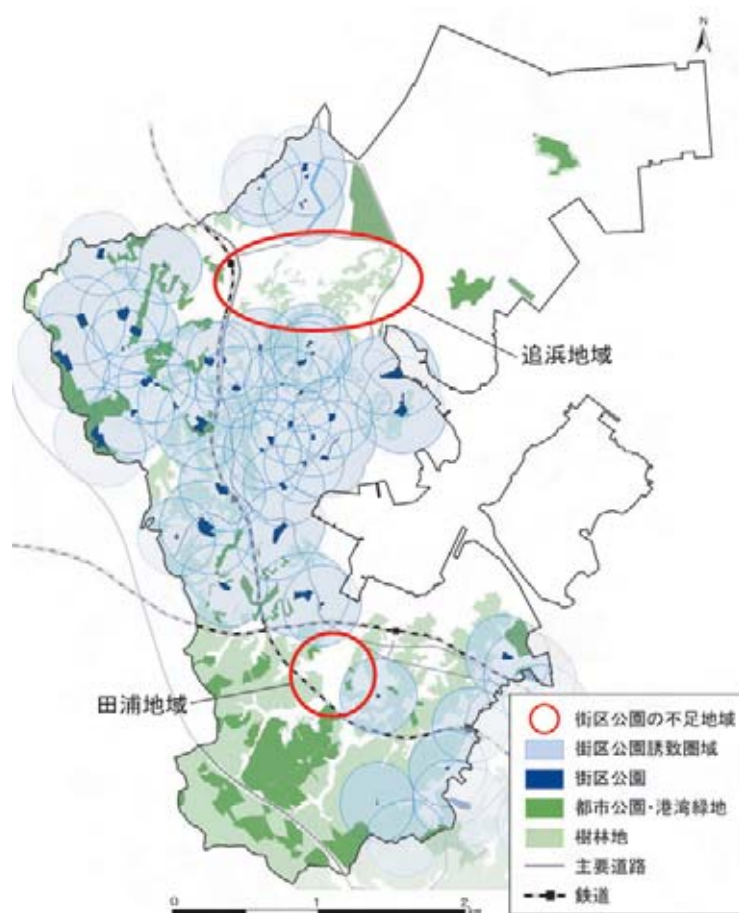
- 斜面緑地が多く、その実態を踏まえた保全
- 少子高齢化・人口減少を踏まえ、長期的展望としての谷戸地域のみどりの再生に関する検討
- 工場に対する緑化推進（ヒートアイランド対策）
- 田浦梅の里周辺、貝山緑地の活用の促進
- 自然植生の保全（夏島貝塚）
- 都市公園の適切な配置
（街区公園不足地域＝追浜地域、田浦地域）
（近隣公園不足小学校区＝夏島小学校区、浦郷小学校区、鷹取小学校区、船越小学校区、長浦小学校区）
（地区公園不足地区＝追浜行政センター地区、田浦行政センター地区）
- 田浦大作自然環境保全地域の維持
- 田浦梅の里周辺の風致の維持
- 塚山風致地区の維持
- 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用の推進（夏島周辺、塚山公園）



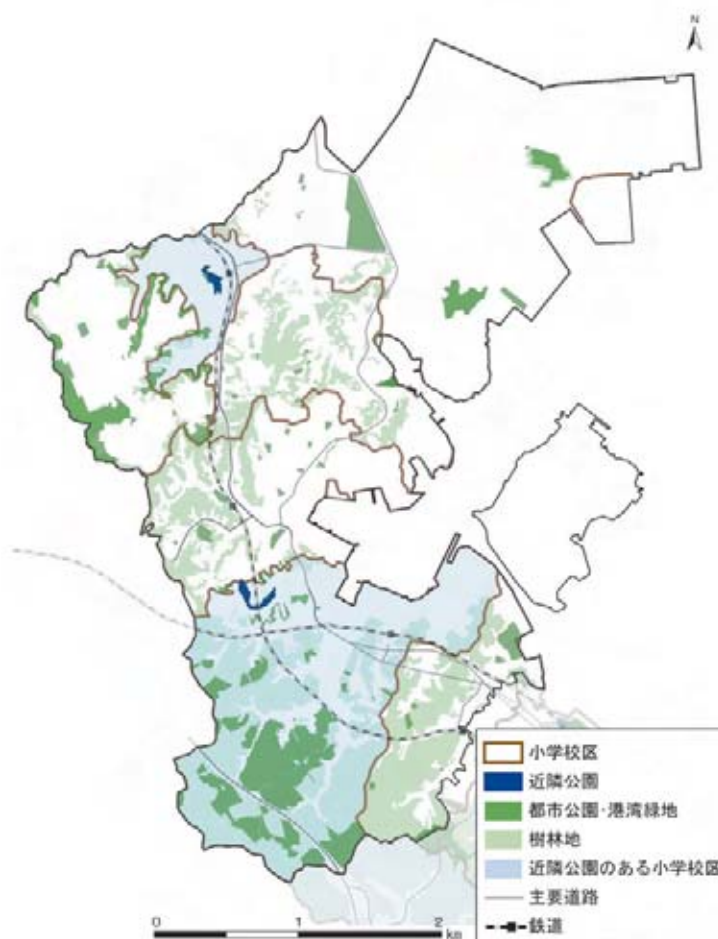
北地域は熱帯夜における午前5時の平均気温が比較的高くなっている

熱帯夜における午前5時の平均気温（1995年～2004年）

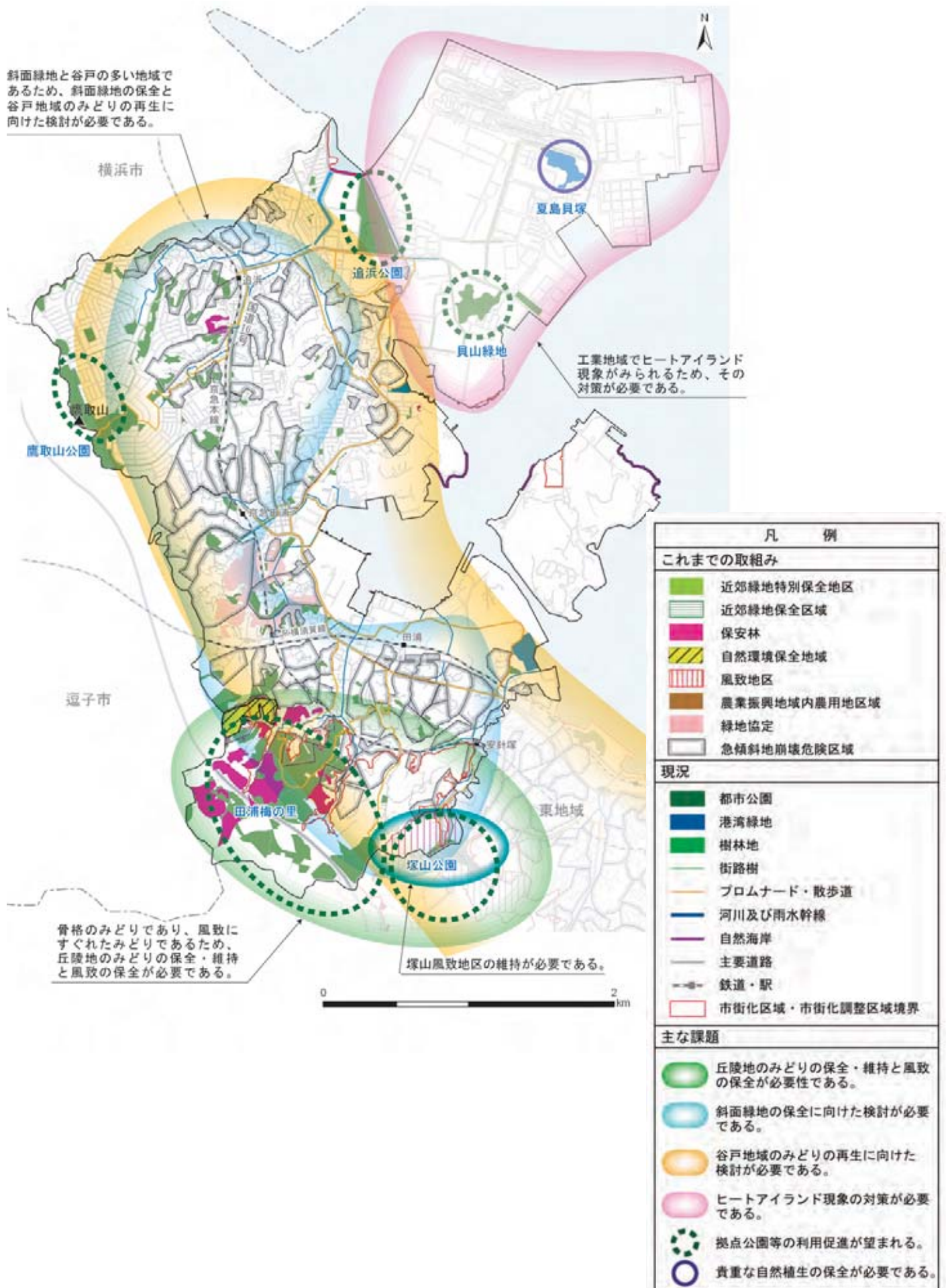
出典：平成17年度ヒートアイランド現象調査報告書(神奈川県)



街区公園の配置状況



近隣公園の配置状況



(3) 施策の方向

① みどりを保全するための推進施策

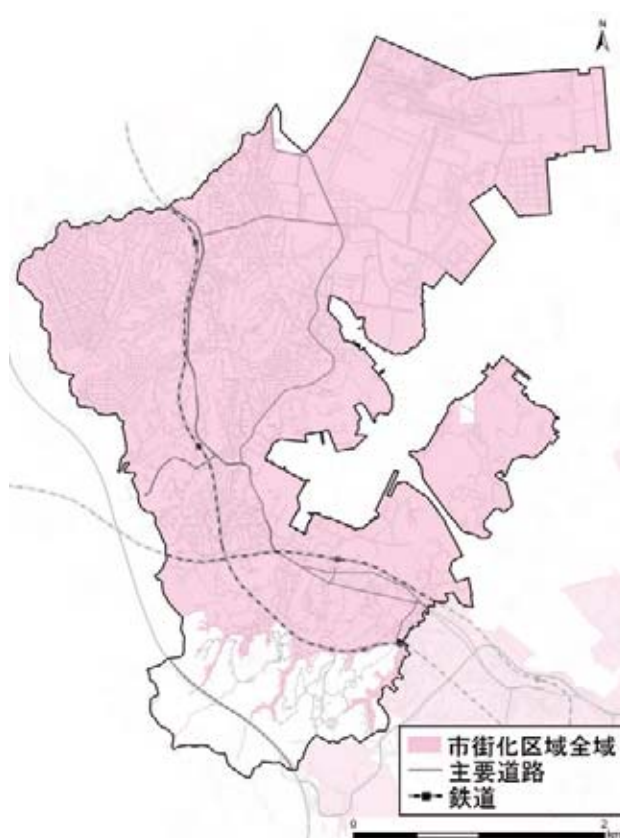
- ◇ 田浦風致地区の新規指定
- ◇ 自然植生の保全 夏島貝塚
- ◇ 斜面緑地の保全に向けた取組みの検討
- ◇ 塚山風致地区の維持
- ◇ 田浦大作自然環境保全地域の維持

② みどりを創出するための推進施策

- ◇ 都市公園の適切な配置
 - ・平成27年度目標 976,734m² (21,775m²増)
 - ・拠点公園などの活用の推進（鷹取山公園、追浜公園、貝山公園、田浦梅の里、塚山公園）
 - ・街区公園、近隣公園、地区公園の不足地域での整備に向けた検討
- ◇ 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用
- ◇ 緑化重点地区の方針に基づく緑化推進
- ◇ 工場に対する緑化推進
- ◇ 谷戸地域のみどりの再生に関する検討
- ◇ 緑化地域の指定に向けた検討



緑化地域指定候補地



緑化重点地区の対象地



北地域のみどりの方針図

第Ⅴ章 2 東地域

(1) 地域の概況

① 面積

3,186ha ※平成20年度末時点

② 人口・世帯数

187,320人、80,675世帯 ※平成21年4月1日時点

③ 都市公園 957,286m² ※平成20年度末時点

④ 地域の概要・特徴

- 近年、人口減少が顕著で、少子高齢化が進行しつつある
- 東京湾側に中心市街地が形成されている
- 一部では複雑に入り組んだ谷戸が多く存在し、防災面や生活利便性の面で課題が多い
- 中心市街地をはじめ、丘陵上部、海岸部、谷戸部など広範囲に住宅地が形成されている
- 横須賀市特有の景観をつくり出している斜面緑地が多く存在している

⑤ みどりの特徴

- 骨格となるみどりとして衣笠山公園付近の丘陵部が存在している
- 拠点となるみどりには、塚山公園、ヴェルニー公園、三笠公園、猿島公園、中央公園、不入斗公園、うみかぜ公園、海辺つり公園、観音崎公園、大津公園、根岸公園（交通公園）、しょうぶ園、衣笠山公園、公園墓地がある
- 歴史的資産と一体となったみどりには、塚山公園、ヴェルニー公園～猿島、衣笠城址周辺、観音崎周辺がある
- 走水水源地は桜の名所となっている



しょうぶ園



根岸公園（交通公園）



ヴェルニー公園



大津公園

(2) みどりの課題（取組みの必要性）

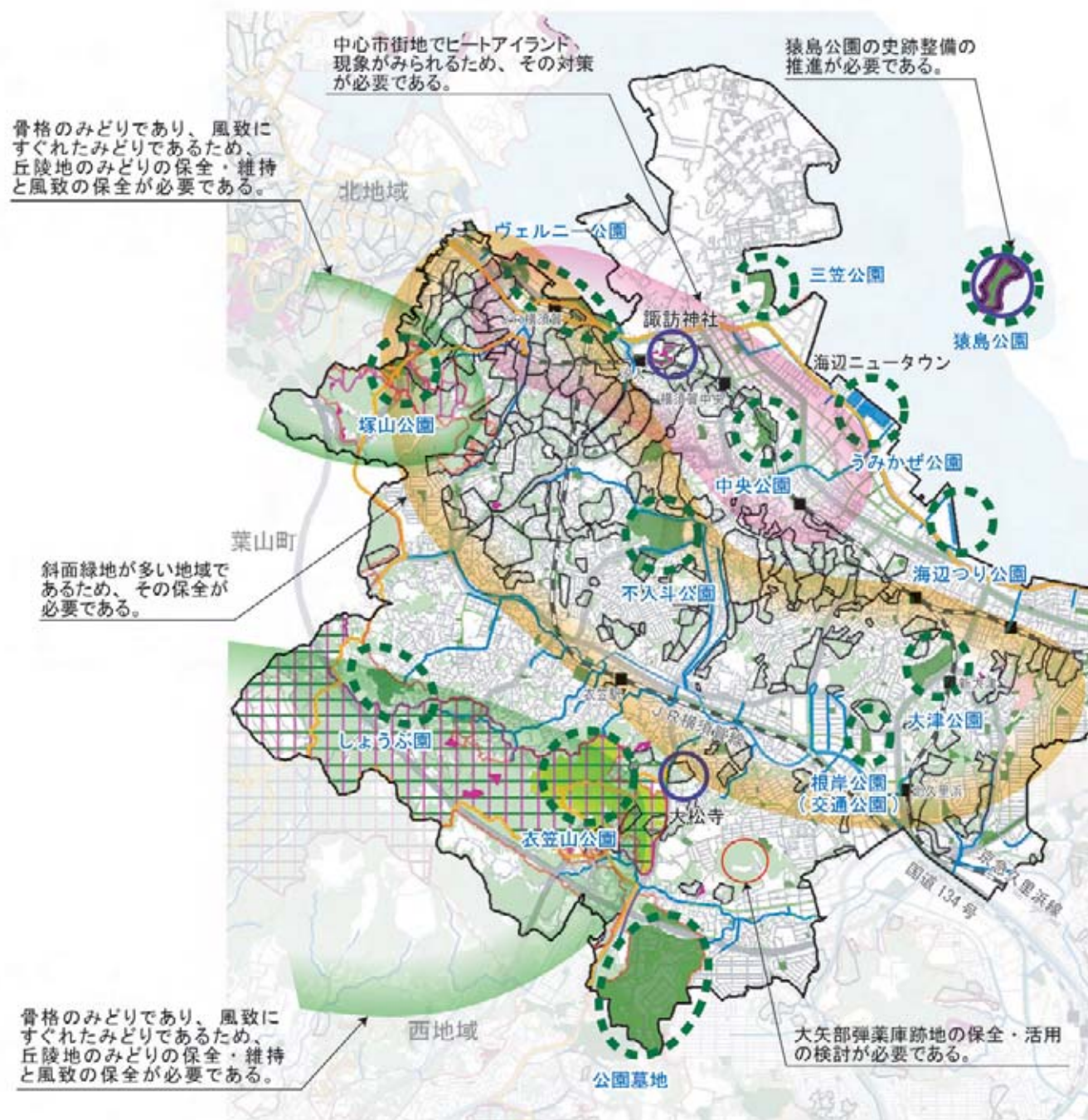
- 中心市街地や住宅地の緑化推進
- 点在する斜面緑地の保全に向けた取組み
- 長期的展望としての谷戸地域のみどりの再生に関する検討
- 拠点公園などの活用の推進（塚山公園、ヴェルニー公園、三笠公園、猿島公園、中央公園、不入斗公園、うみかぜ公園、海辺つり公園、観音崎公園、大津公園、根岸公園（交通公園）、しょうぶ園、衣笠山公園、公園墓地）
- 10,000mプロムナードなど海辺と親しむ場の活用促進
- 自然植生の保全（諏訪神社、猿島、大松寺）
- 都市公園の適切な配置

（街区公園不足地域＝汐入・上町地域、日の出町地域、富士見町地域、三春町地域、阿部倉地域、衣笠地域）

（近隣公園不足小学校区＝逸見小学校区、沢山小学校区、桜小学校区、田戸小学校区、山崎小学校区、鶴久保小学校区、城北小学校区、平作小学校区、衣笠小学校区、森崎小学校区、大津小学校区、根岸小学校区、走水小学校区、馬堀小学校区、望洋小学校区）

（地区公園不足地区＝本庁地区、衣笠行政センター地区、大津行政センター地区）

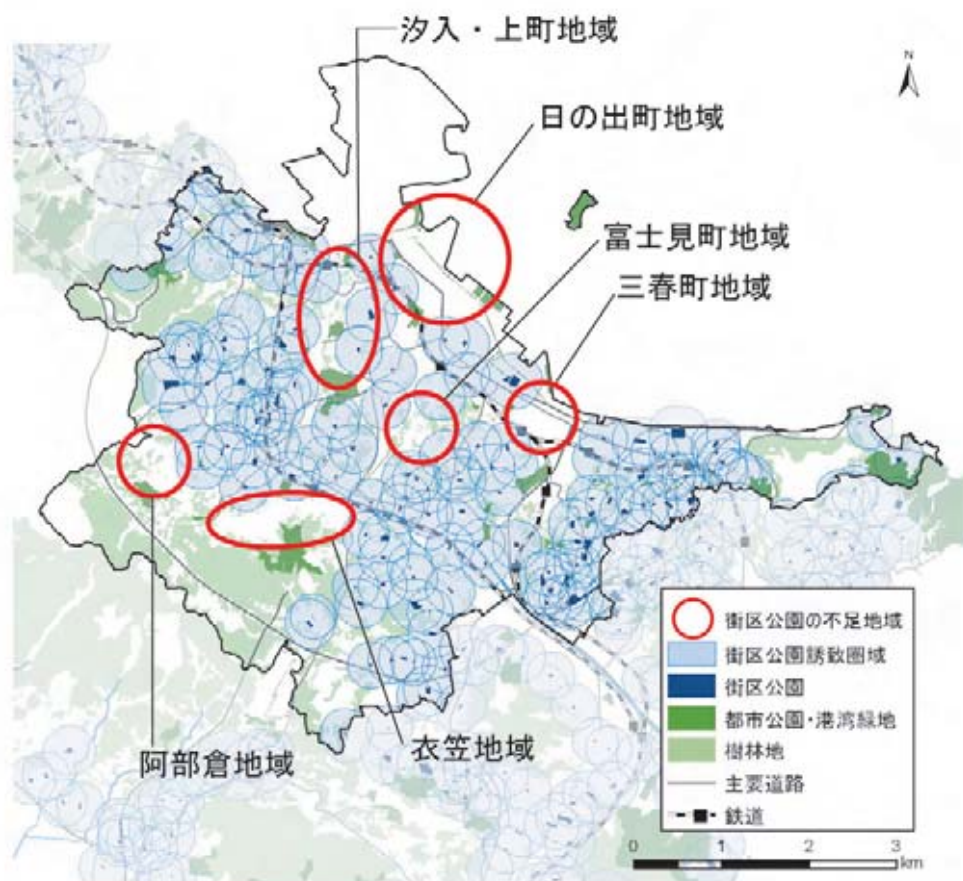
- 塚山風致地区の維持
- 猿島公園の史跡整備
- 走水水源地の活用
- 大矢部弾薬庫跡地の緑地の保全・活用
- （仮称）破崎公園の整備
- 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用の推進（塚山公園、ヴェルニー公園～猿島、衣笠城址周辺、観音崎周辺）



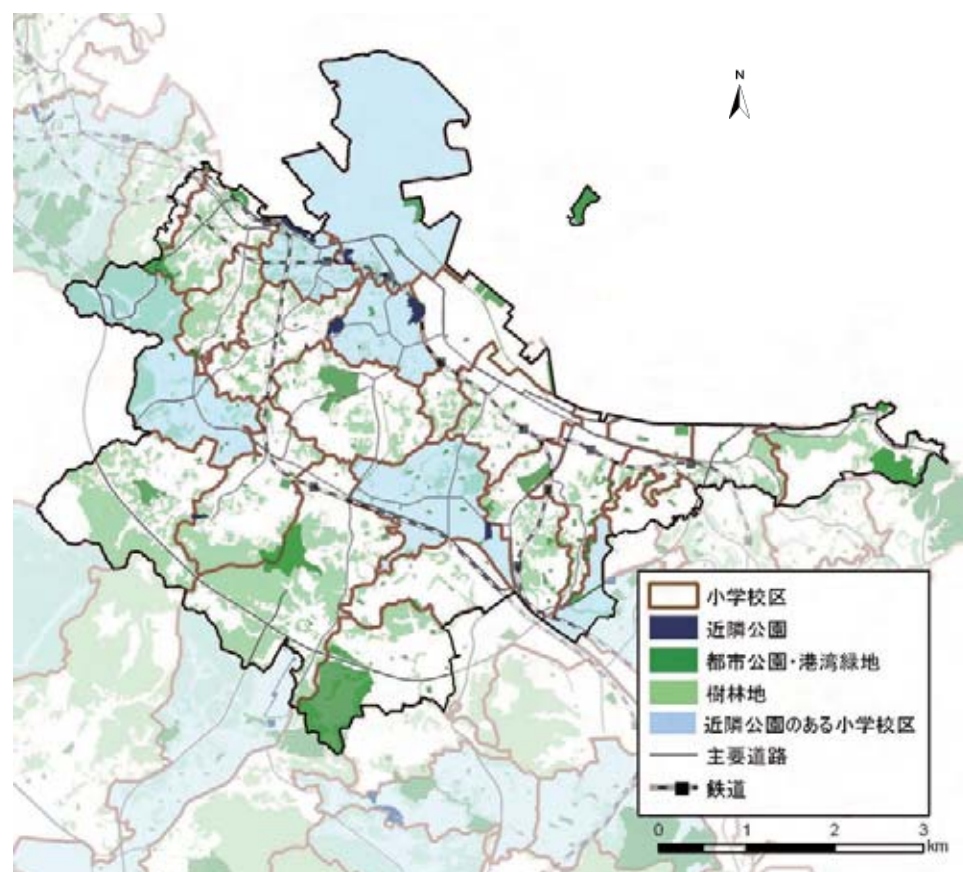
東地域のみどりの現況と主な課題



凡 例	
これまでの取組み	
	近郊緑地特別保全地区
	近郊緑地保全区域
	保安林
	自然環境保全地域
	風致地区
	農業振興地域内農用地区域
	緑地協定
	急傾斜地崩壊危険区域
現況	
	都市公園
	港湾緑地
	樹林地
	街路樹
	プロムナード・散歩道
	河川及び雨水幹線
	自然海岸
	鉄道・駅
	主要道路
	市街化区域・市街化調整区域境界
主な課題	
	丘陵地のみどりの保全・維持と風致の保全が必要である。
	風致にすぐれたみどりであるため、その保全が必要である。
	斜面緑地が多い地域であるため、その保全が必要である。
	ヒートアイランド現象の対策が必要である。
	拠点公園等の利用促進が望まれる。
	貴重な自然植生の保全が必要である。



街区公園の配置状況



近隣公園の配置状況

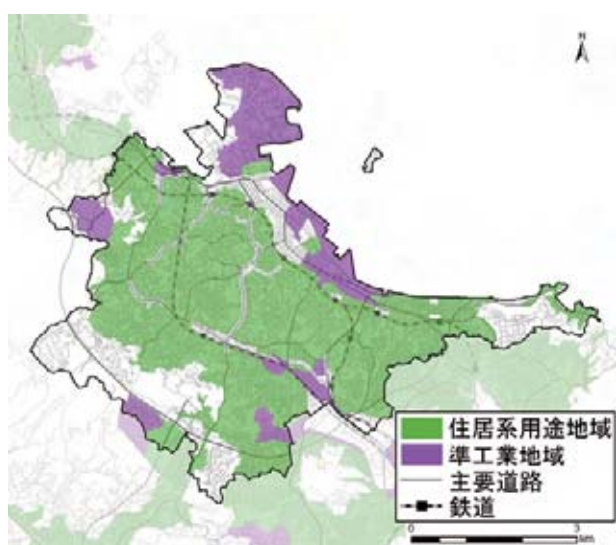
(3) 施策の方向

① みどりを保全するための推進施策

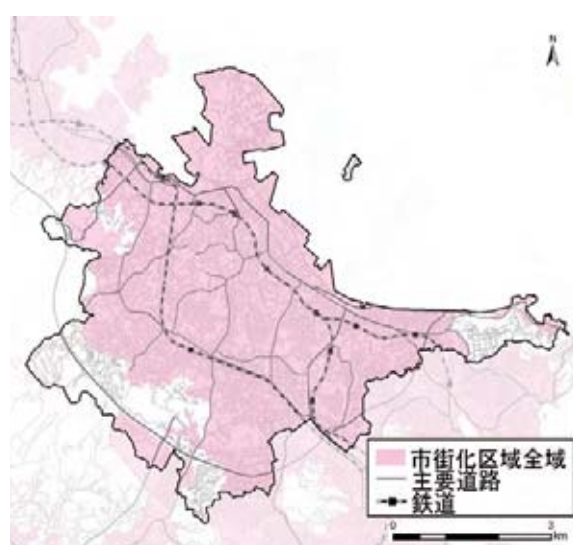
- ◇ 自然植生の保全 諏訪神社、猿島、大松寺
- ◇ 点在する斜面緑地の保全に向けた取り組み

② みどりを創出するための推進施策

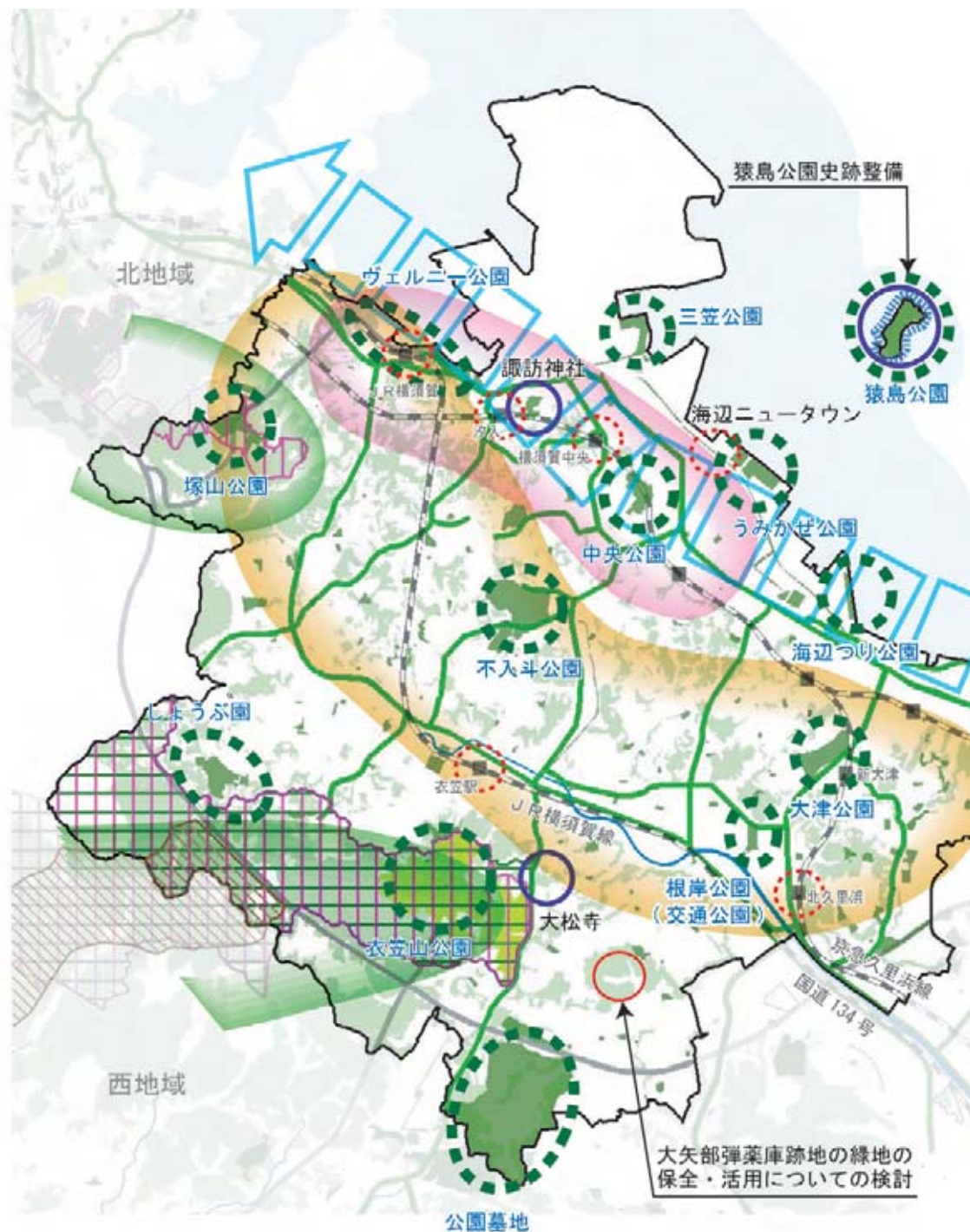
- ◇ 都市公園の適切な配置
 - ・平成27年度目標965,278m²（7,992m²増）
 - ・猿島公園の史跡整備
 - ・周辺の土地利用及び既存公園と連携した（仮称）馬堀海岸4丁目第2公園の整備
 - ・（仮称）破崎公園整備
 - ・拠点公園などの活用の推進（塚山公園、ヴェルニー公園、三笠公園、猿島公園、中央公園、不入斗公園、うみかぜ公園、海辺つり公園、観音崎公園、大津公園、根岸公園（交通公園）、しょうぶ園、衣笠山公園、公園墓地）
 - ・街区公園不足地域での整備に向けた検討
 - ・近隣公園不足地域、地区公園不足地域での整備に向けた検討
 - ・走水水源地の活用の検討
 - ・大矢部弾薬庫跡地の緑地の保全・活用についての検討
- ◇ 10,000mプロムナードの整備
- ◇ 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用
- ◇ 緑化重点地区の方針に基づく緑化推進
- ◇ 中心市街地の緑化推進
- ◇ 海辺と親しむ場の活用の推進
- ◇ 谷戸地域のみどりの再生に関する検討
- ◇ 緑化地域の指定に向けた検討



緑化地域指定候補地



緑化重点地区の対象地



東地域のみどりの方針図



凡 例	
みどりの方針	
	骨格のみどりと風致の保全
	斜面緑地の実態を踏まえた保全のあり方の検討
	中心市街地の緑化促進
	風致地区の維持
	拠点公園等の活用促進
	都市公園の整備
	自然植生の保全
	(仮称) 三浦半島国営公園の誘致の推進
	道路のみどりの維持と緑化の推進
	河川環境の整備
	自然海岸と一体となったみどりの保全
	海辺の風致の保全
	都市拠点・地域拠点
現況	
	都市公園・港湾緑地
	近郊緑地特別保全地区
	近郊緑地保全地域
	風致地区
	樹林地
	主要道路（有料道路）
	鉄道・駅

第Ⅴ章 3 南地域

(1) 地域の概況

① 面積

2,830ha ※平成20年度末時点

② 人口・世帯数

143,591人、58,087世帯 ※平成21年4月1日時点

③ 都市公園 1,936,985m² ※平成20年度末時点

④ 地域の概要・特色

- 本市全体では人口が減少する中で、微増傾向にある
- 少子高齢化率は低いが進行中である
- 住宅地やその周辺部で斜面緑地が多く存在している
- 日本の近代化の歴史的資産や自然環境が豊富である（浦賀地区・久里浜地区の歴史的資産や観音崎・野比の自然海岸・武山の丘陵など）

⑤ みどりの特徴

- 骨格となるみどりとして武山周辺の丘陵が存在している
- 拠点となるみどりには、観音崎公園、ペリー公園、くりはま花の国、光の丘水辺公園がある
- 歴史的資産と一体となったみどりには、観音崎周辺、浦賀～燈明堂～久里浜、御林・怒田城址周辺、佐原城址・内川新田周辺がある



野比海岸



光の丘水辺公園



くりはま花の国



東叶神社周辺

(2) みどりの課題（取組みの必要性）

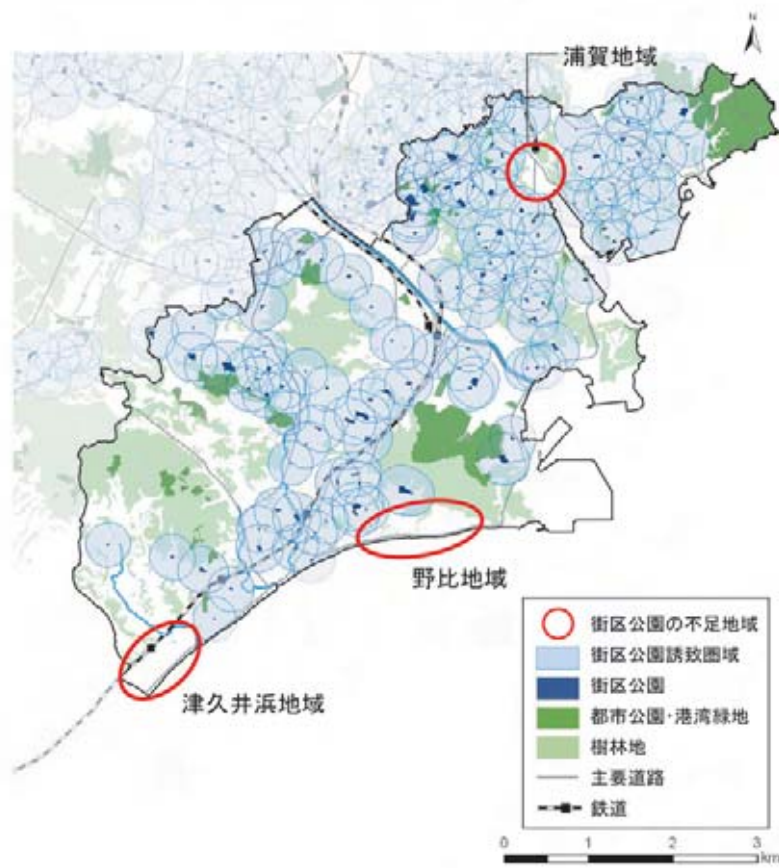
- 市街地の緑化推進
- 点在する斜面緑地の保全に向けた取組み
- 丘陵部のみどりの保全（武山近郊緑地保全地区の適切な維持・管理）
- 拠点公園などの活用の推進（観音崎公園、ペリー公園、くりはま花の国、光の丘水辺公園）
- 自然海岸と一体となったみどりの保全
- 都市公園の適切な配置

（街区公園不足地域＝浦賀地域、野比地域、津久井浜地域）

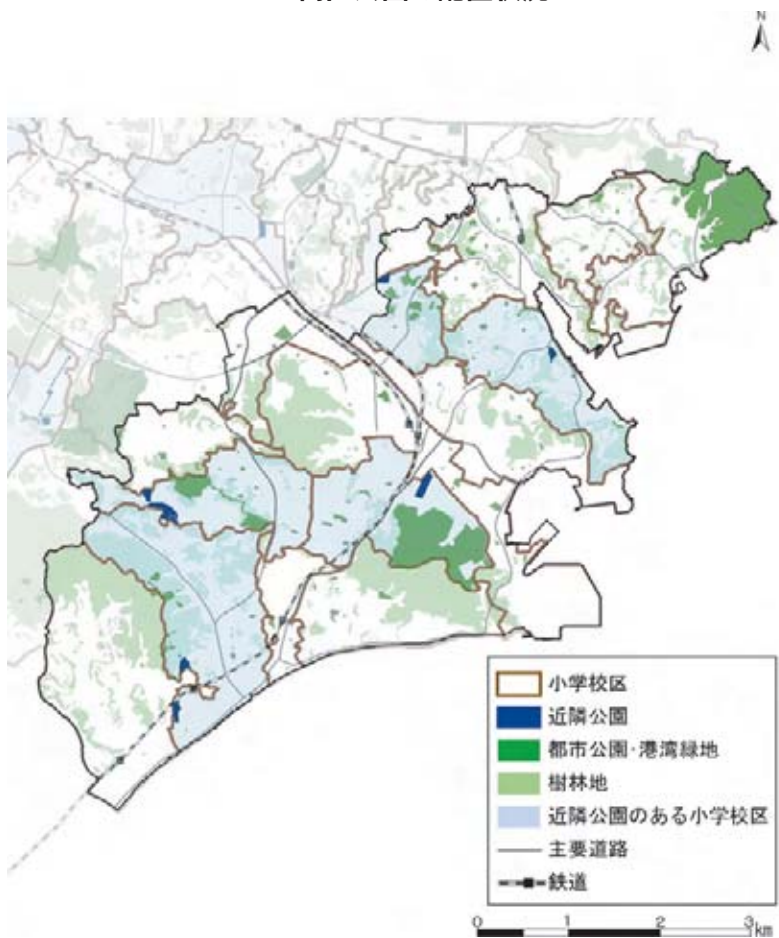
（近隣公園不足小学校区＝浦賀小学校区、小原台小学校区、光洋小学校区、鴨居小学校区、岩戸小学校区、久里浜小学校区、明浜小学校区、野比小学校区、野比東小学校区、津久井小学校区）

（地区公園不足地区＝浦賀行政センター地区、久里浜行政センター地区、北下浦行政センター地区）

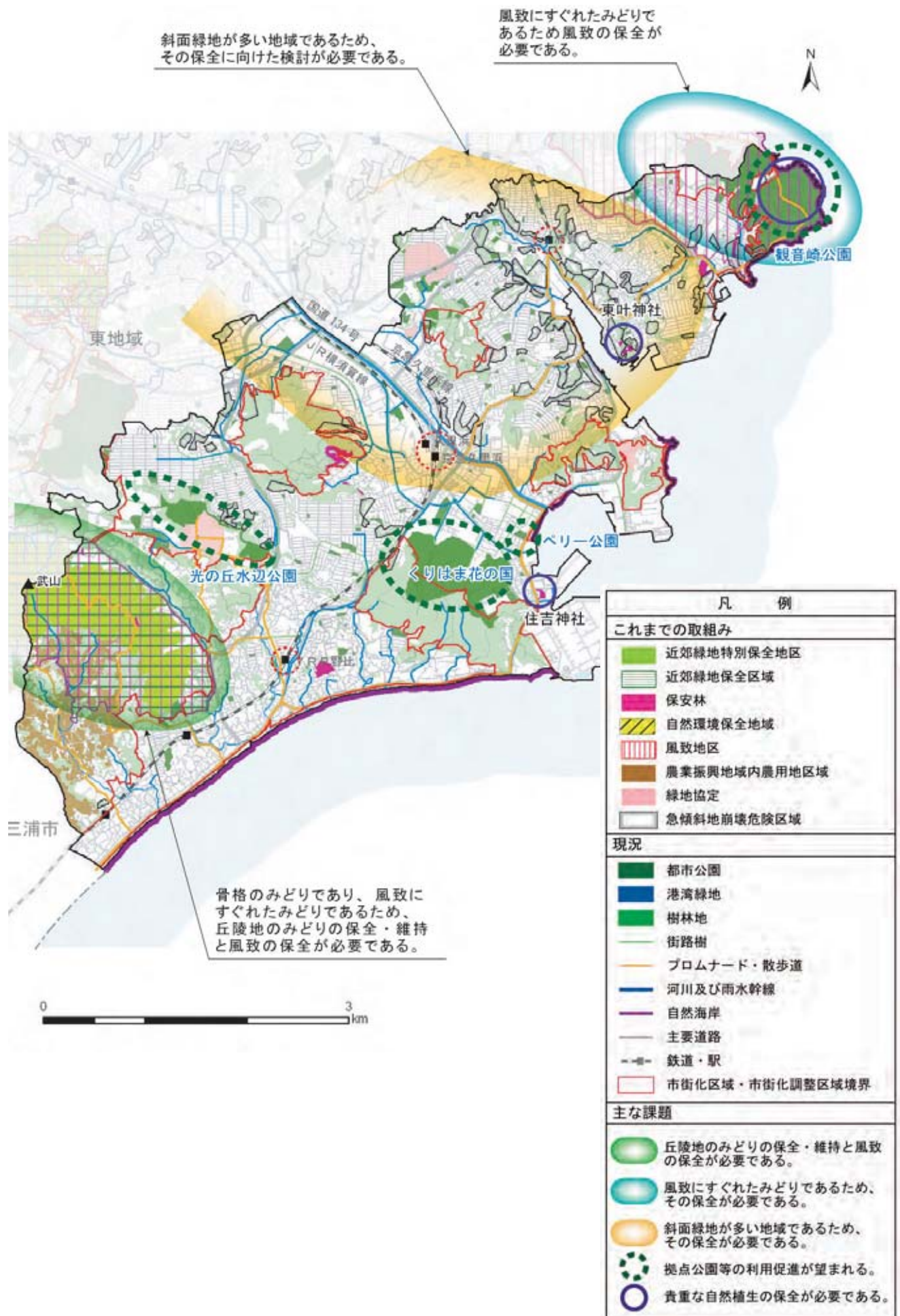
- （仮称）浦賀西岸プロムナードの整備
- 自然植生の保全（観音崎、東叶神社、住吉神社）
- 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用促進（観音崎周辺、浦賀～燈明堂～久里浜、御林・怒田城址周辺、佐原城址・内川新田周辺）



街区公園の配置状況



近隣公園の配置状況



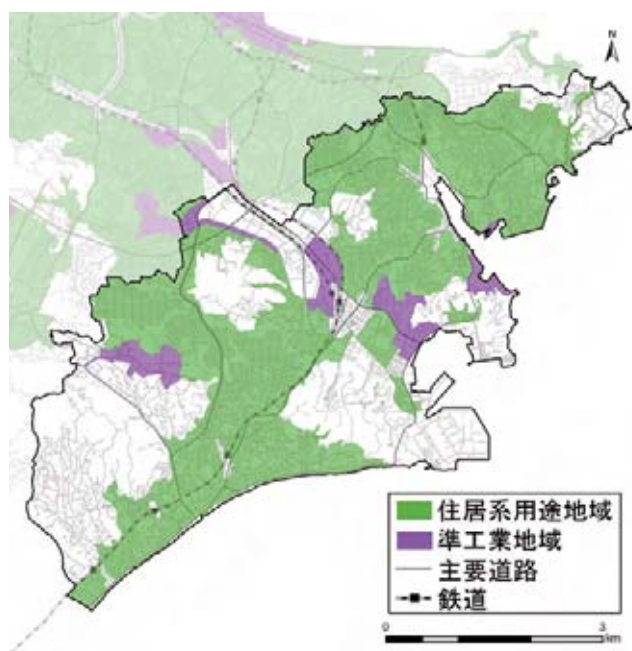
(3) 施策の方向

① みどりを保全・育成し、活用するための推進施策

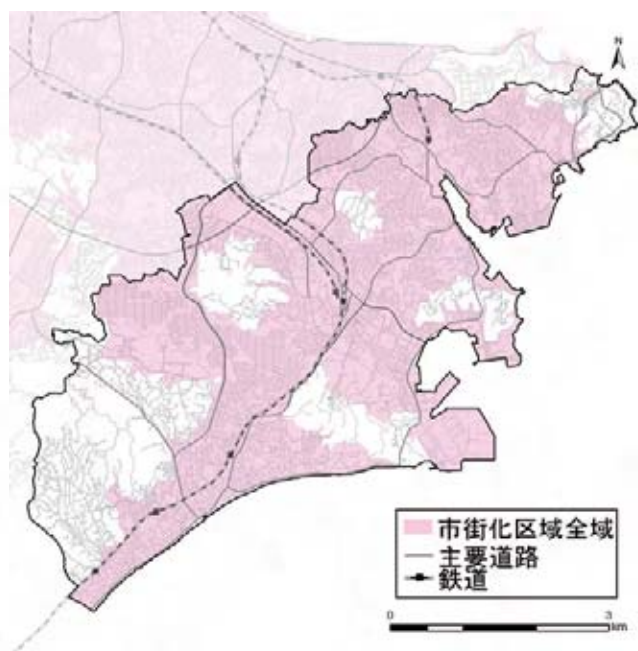
- ◇ 丘陵部のみどりの保全
 - ・ 武山近郊緑地保全地区の適切な維持・管理
- ◇ 自然海岸と一体となったみどりの保全
- ◇ 自然植生の保全
 - ・ 観音崎、東叶神社、住吉神社
- ◇ 点在する斜面緑地の保全に向けた取り組み

② みどりを創出・育成し、活用するための推進施策

- ◇ 都市公園の適切な配置
 - ・ 平成27年度目標 1,988,068m² (51,083m²増)
 - ・ 拠点公園などの活用の推進（観音崎公園、ペリー公園、くりはま花の国、光の丘水辺公園）
 - ・ 街区公園不足地域での整備に向けた検討
 - ・ 近隣公園不足地域での整備に向けた検討（仮称）久里浜1丁目公園の整備
 - ・ 地区公園不足地域での整備に向けた検討（仮称）佐原2丁目公園の整備
- ◇（仮称）浦賀西岸プロムナードの整備
- ◇ 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用
- ◇ 緑化重点地区の方針に基づく緑化推進
- ◇ 市街地の緑化推進
- ◇ 緑化地域の指定に向けた検討



緑化地域指定候補地



緑化重点地区の対象地



南地域のみどりの方針図

第Ⅴ章 4 西地域

(1) 地域の概況

① 面積

2,690ha ※平成20年度末時点

② 人口・世帯数

46,175人、18,252世帯 ※平成21年4月1日時点

③ 都市公園 602,508m² ※平成20年度末時点

④ 地域の概要・特色

- 人口増加地域であるが、近年は増加幅が縮小しつつある
- 少子高齢化率は低いが進行中である
- 農地が多く存在するが減少傾向にある
- 良好な自然海岸や丘陵地の山林があり、自然資源が豊富（大楠山をはじめとする丘陵、秋谷・佐島・長井・荒崎の海辺の自然）
- 豊かな自然環境、リゾート的環境を生かし、地域の活力を増進させる様々な交流機能が配置されている

⑤ みどりの特徴

- 骨格となるみどりとして大楠山周辺の丘陵が存在している
- 大楠山周辺の丘陵を流域とした河川が存在している
- 農地が多く存在している
- 拠点となるみどりには、荒崎公園、長井海の手公園（ソレイユの丘）、太田和つつじの丘、天神島臨海自然教育園、立石公園がある
- 歴史的資産と一体となったみどりには、子安の里、立石周辺がある



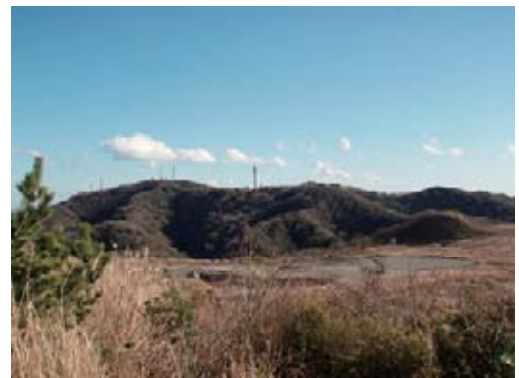
立石公園



長井海の手公園（ソレイユの丘）



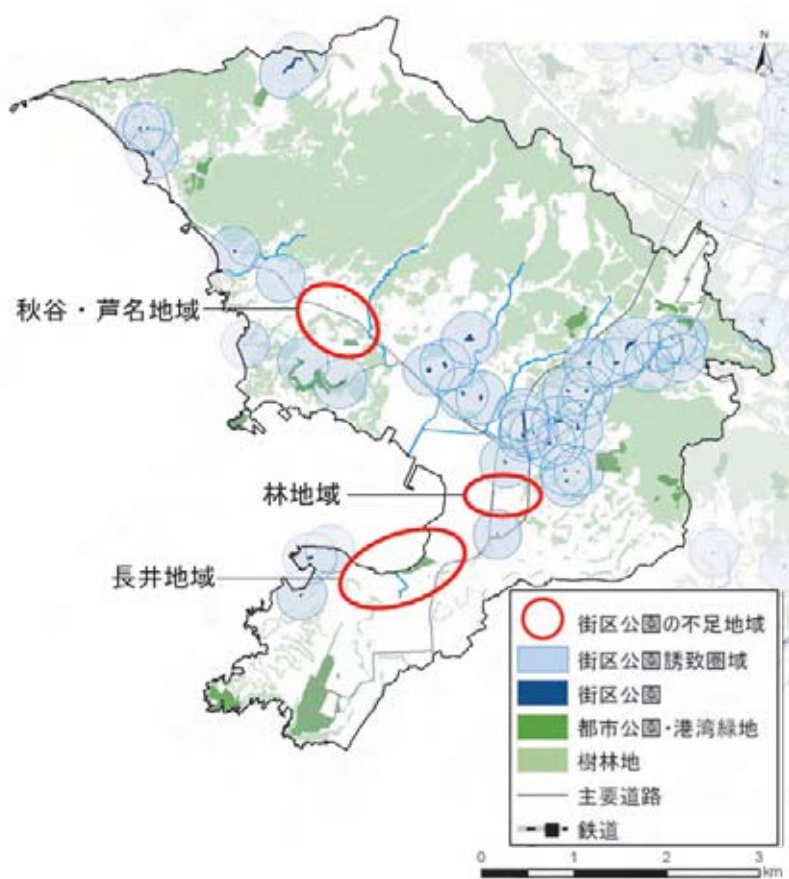
太田和つつじの丘



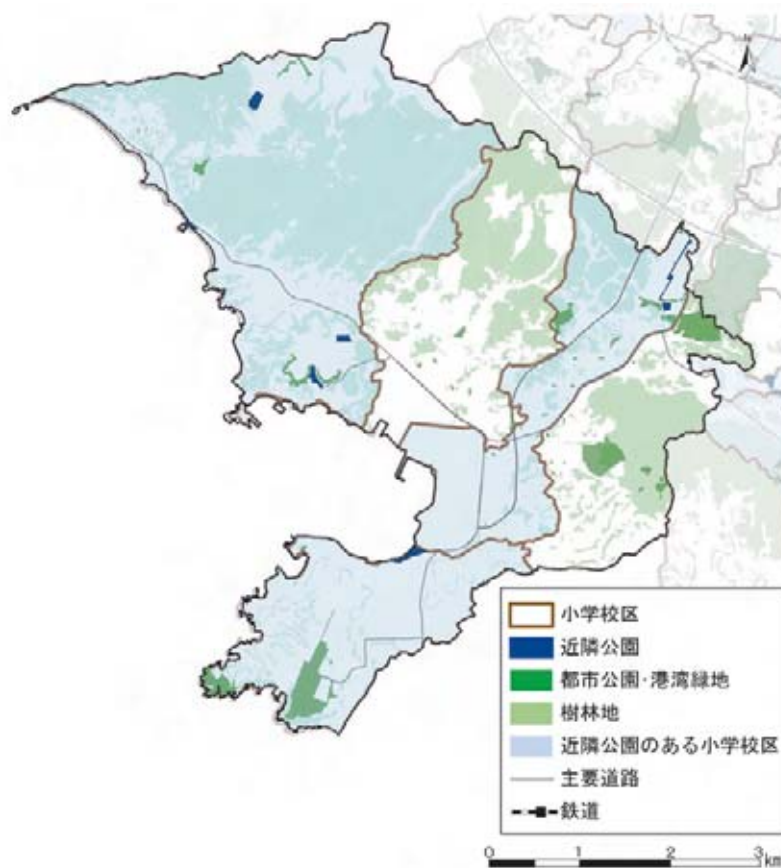
大楠山

(2) みどりの課題（取組みの必要性）

- 丘陵部のみどりの保全（近郊緑地特別保全地区の新規指定 大楠地区・子安地区 衣笠・大楠山 近郊緑地特別保全地区の適切な維持・管理）
- 丘陵を流域とする河川上流部における倒木処理や、適切なみどりの維持・管理・育成（前田川流域など）
- 拠点公園などの活用促進（荒崎公園、長井海の手公園（ソレイユの丘）、太田和つつじの丘、天神島臨海自然教育園、立石公園）
- 自然海岸と一体となったみどりの保全（特別緑地保全地区の新規指定 荒崎地区 その他の公園・緑地など）
- 都市公園の適切な配置
（街区公園不足地域＝秋谷・芦名地域、長井地域、林地域）
（近隣公園不足小学校区＝富士見小学校区、荻野小学校区）
（地区公園不足地区＝西行政センター地区）
- 湘南国際村B・C地区の再生・活用
- 自然植生の保全（荒崎、天神島・笠島、大楠山南面地域、三島社、武山不動尊周辺、三浦正八幡神宮）
- （仮称）三浦半島国営公園の誘致
- 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用促進（子安の里、立石周辺）



街区公園の配置状況



近隣公園の配置状況



西地域のみどりの現況と主な課題

(3) 施策の方向

① みどりを保全・育成し、活用するための推進施策

◇ 丘陵部のみどりの保全

- ・ 近郊緑地特別保全地区の新規指定（大楠地区・子安地区）
- ・ 河川流域における適切なみどりの維持・管理・育成に向けた検討
- ・ 衣笠・大楠山近郊緑地保全地区の適切な維持・管理

◇ 自然海岸と一体となったみどりの保全

- ・ 特別緑地保全地区の新規指定（荒崎地区）
- ・ その他の公園・緑地の適切な維持・管理

◇ 自然植生の保全

- ・ 荒崎、天神島・笠島、大楠山南面地域、三島社、武山不動尊周辺、三浦正八幡神宮

② みどりを創出・育成し、活用するための推進施策

◇ 都市公園の適切な配置

- ・ 平成27年度目標677,024m²（74,516m²増）
- ・ 拠点公園などの活用の推進（荒崎公園、長井海の手公園（ソレイユの丘）、太田和つつじの丘、天神島臨海自然教育園、立石公園）
- ・ 街区公園不足地域での整備に向けた検討（仮称）林4丁目公園の整備
- ・ 近隣公園不足地域、地区公園不足地域での整備に向けた検討

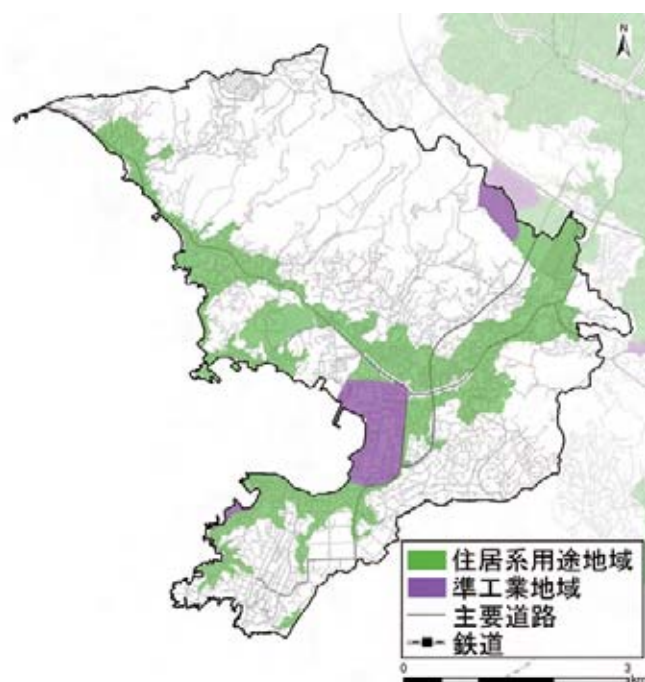
◇ 歴史的背景を活かしたみどりの整備、活用

◇ 湘南国際村B・C地区の再生・活用

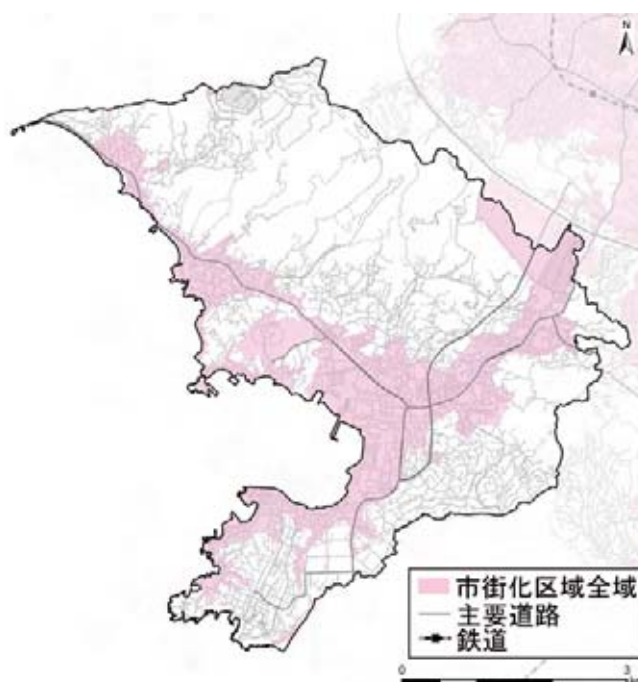
◇ （仮称）三浦半島国営公園誘致の推進

◇ 緑化重点地区の方針に基づく緑化推進

◇ 緑化地域の指定に向けた検討



緑化地域指定候補地



緑化重点地区の対象地



西地域のみどりの方針図

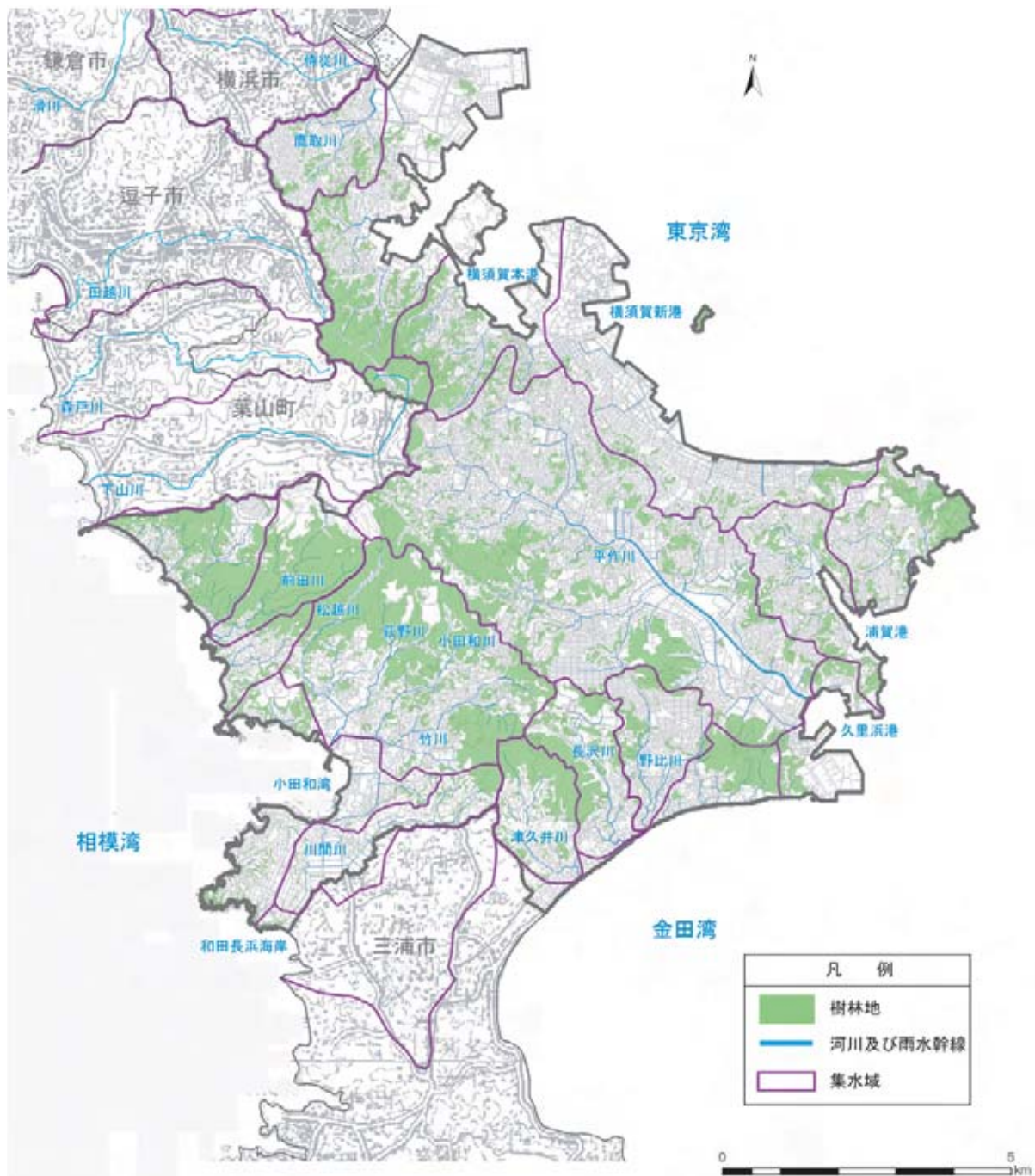
第Ⅴ章 5 流域（河川流域・集水域）に基づく区分

本計画では、4地域（行政センター管内のまとまり）におけるみどりの課題と方針を示しましたが、みどりは水の流れと一体的に捉えることで、大雨や突発的な豪雨に対する防災、生物多様性、みどりのネットワークなどにおける総合的な把握と対応が可能となります。

そこで、将来に向けて「河川流域・集水域でみどりを捉え、対応を図る」との視点から、本市における「河川流域・集水域」の区域分けの考え方を示します。

今後、この流域を参考として、みどりの現状把握や課題抽出及び施策展開に活用していく必要があります。

本市は、23水系、37河川、約50kmの河川があります。これらの主な河川の流域を含め、25の集水域に区分できます。



流域に基づく区分